

# JFA 第 42 回全日本U-12 サッカー選手権大会

## 山梨県大会要項

[開会式] は行いません。 [大会期日]2018/11/4(日). 11/11(日). 11/18(日). 11/25(日)

### ■ 趣 旨

日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す

■ 名 称： J F A 第 42 回全日本少年サッカー選手権大会 山梨県大会

■ 主 催： (公財) 日本サッカー協会 / (公財) 日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団 / 読売新聞社 / (一社) 山梨県サッカー協会

■ 主 管： (一社) 山梨県サッカー協会 4 種委員会

■ 後 援： 日本テレビ放送網 / 報知新聞社 / 山梨日日新聞社 / 山梨放送

■ 特別協賛： (Y K K / 花王)

■ 協 賛： (日本マクドナルド / 日清製粉グループ / 日清オイリオグループ / ゼビオ)

■ 協 力： モルテン

### ■ 日程・会場

1. 大会期日：2018/11/4(日). 11/11(日). 11/18(日). 11/25(日) 予備日 ( )
2. 試合会場：1 日目・11/4(日) 8 面 各 4~5 試合(郡東 2、甲府 2、峡北 2、峡東 2)  
2 日目・11/11(日) 4 面 各 6 試合(峡中 2、郡南 2)  
3 日目・11/18(日) 準々決勝・準決勝、2 面 6 試合 (小瀬補助競技場)  
4 日目・11/25(日) 3 位決定戦・決勝戦・閉会式 (押原公園天然芝 G)
3. 運営担当：1 日目、2 日目は、全地区対象とし各コートの会場責任チームが担当する。  
大会 3 日目と最終日は、役員及び事業運営部員が担当する。

■ 組合せ抽選：平成 30 年 9 月 8 日(土) 県 4 種委員会評議員会終了後に実施する。

## ■参加資格

1. 「参加チーム」は、日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。
2. 「選手」はチームに所属するJFA登録選手で、スポーツ障害保険に加入済であること。
3. 都道府県大会から決勝大会に至るまでに、同一選手が異なる加盟チームへの移籍後、再び参加することはできない。
4. 女子選手については、（クラブ申請を承認された）同一クラブ内の他の「加盟チーム」から参加させることも可能とする。
5. 当該チームの大会エントリー登録選手数が20名に満たない場合は、「加盟チーム」内の選手から追加登録することができる。
6. 「参加チーム」はU-12リーグ前期・後期ともに参加していること。
7. 引率指導者は参加チームを掌握指導する責任ある指導者であること。また、チーム役員の内1名以上が日本サッカー協会公認コーチ資格（D級コーチ以上）を有すること。なお、大会期間中、複数のチームを引率することは出来ません。
8. 会場確保及び運営等に協力できるチームであること。
9. 大会参加申し込み期限は平成30年8月15日(水)とし各地区理事が取りまとめ、運営担当地区理事に通知する。
10. シードを採用する（JFAU-12サッカーリーグ2018前期Gグループ上位8チームが対象）シードチームは各グループ順位を優先し①勝点、②得失差、③総得点の順番で決定する。

## ■複数エントリー

1. 複数エントリーを認める。但し、チームは上記「参加資格」を満たしていること。
2. 複数エントリーチームは大会参加費5,000円を9月8日までに地区理事に収める。

## ■大会形式

1. トーナメント戦ノックアウト方式にて優勝以下第3位までを決定する。

## ■競技規則

1. 公益財団法人日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。

## ■大会規定

1. 競技のフィールド サイズは以下のとおりとする。  
フィールドの大きさ：長さ（タッチライン）68m × 幅（ゴールライン）50m  
ペナルティーエリア：12m ペナルティーマーク：8m ペナルティーアークの半径：7m  
ゴールエリア：4m センターサークルの半径：7m
2. 使用するボールは検定皮革4号球を使用する。

### 3. 競技者の数

- a. 競技者の数：8名（8名に満たない場合は試合を行わず、得点を0対5として敗戦したものとみなす。試合中に怪我等による人数不足により8名に満たなくなった場合には、そのまま続行する。）
- b. 交代要員の数：8名以内
- c. 大会登録選手は20名以下とする。
- d. 交代を行うことができる回数：制限なし（交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。）
- e. ベンチ入り選手の人数は問わないが、交代要員と区分できるようにベンチを設置する。

### 4. メンバー表及びエントリー表の提出

- a. メンバー表は毎試合開始30分前までに、エントリー表とともに本部に提出すること。また、会場運営責任者はエントリー表とメンバー表が一致するか予め照合する。エントリー表に記載のない選手は出場できない。
- b. 「エントリー表」は10月28日(日)までにKICKOFFサイトより「大会への参加申し込み」を行い、最終承認の後、エントリーチーム情報及びエントリー選手情報が記載されている「大会申込書」をプリントアウトしたものをいう。大会期間中はメンバー表とともに保管し毎試合ごとにメンバー表とともに本部に提出する。
- c. 選手証の提示を必要とする。大会1日目及び2日目は会場運営責任者がメンバー表に記載された選手と選手証及び本人を照合（1試合目のみ行う）、3日目及び最終日は事業運営部員が全試合照合する。選手証に不備あった（選手証・写真の確認ができない）場合、当該選手は試合に出場することが出来ない。
- d. 選手証の提示は、顔写真付きのエントリー表やカード型選手証、または「KICKOFFアプリケーション表示の電子登録証」（スマホ・タブレット）も可能とする。

### 5. ベンチ入りするチーム役員の数

- a. 2名以上3名以下とし、試合中の指示は1名が立って行う。なお、1名以上が日本サッカー協会公認コーチ資格（D級コーチ以上）を有すること。
- b. 公認指導者ライセンスの提示を必要とする。また、会場運営責任者に提示を求められた場合は速やかに応じること。
- c. ベンチサイドは、組み合わせ表番号の小さいチームがピッチに向かって左側とする。

## 6. 審判員

- a. 1人の主審と2人の副審と第4の審判員で行う。
- b. 参加チームは必ず2名以上審判員を帯同すること。（審判証を携行し提示が必要とする。また審判着を上下着用しワッペンを付けること。）
- c. 1日目・2日目の第1試合の審判は第3試合の2チームが担当する。（主・4審、副審分担協議）。2試合目以降は前の試合の2チームが（勝ちチームが主審・4審を）担当する。ただし、両チームの協議により分担を変更することも可能とする。
- d. 3日目準々決勝の主審・第4審は審判部が担当し、副審は各チーム帯同審判が担当する。準決勝からは全て審判部が担当する。

## 7. テクニカルエリアを設置する。

## 8. 競技者の用具・ユニフォーム

- a. 競技者の用具について2018～19「サッカー競技規則」に従う。
- b. また、「ユニフォーム規程」に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
- c. 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- d. ユニフォームへの広告表示については、日本サッカー協会 第4種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならず、日本サッカー協会に承認された場合にのみ認められる。

## 9. 試合時間

- a. 試合時間は40分（前後半各20分）とする。ハーフタイムは選手の休息5分を確保する。

## 10. ペナルティーキック方式

- a. 1日目・2日目、規定の試合時間内に勝敗が決しない場合はペナルティーキック方式により決定する。ただし、3日目以降は10分間（前後半各5分）の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティーキック方式により勝利チームを決定する。

## 11. 交代の手続き

- a. 本大会は4人審判制で行うため、交代は主審の承認を得てアウトオブプレー中に行う。

## 12. 懲罰

- a. 退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。審判報告書使用して次の試合に申し送る。退場を命じられた競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。
- b. 警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。

- c. 山梨県大会（予選）は懲罰規定上の同一競技会とみなし、終了時点で退場・退席による未消化の出場停止処分は全国大会において順次消化する。

### 13. 安心安全な環境づくり

暴力・暴言・差別を排除した環境づくりの一環としてマッチウェルフェアオフィサーを配置し、オフィサーの気付き通じた説明や講評を行うことがあります。

### 14. その他

- a. 雨天実施とする。
- b. 会場設営、試合等の運営は運営担当地区の責任のもとに行う。
- c. 会場責任者は試合結果に誤りのないことを確認し試合終了後直ちに広報部へ連絡する。

連絡先：鈴木和幸（広報部長） FAX 055-251-7164

### 15. 問い合わせ先

実行委員長：石原幸周 山梨県サッカー協会 4種委員会委員長

大会運営責任者：甲府地区理事 志村祐 090-7412-7692・鈴木和幸 090-8110-2710

会場運営責任者：各会場運営責任チームの責任者

事業運営部長：三科 健二郎 090-2255-1595

峡北会場責任者：福田和久 090-4709-8503 峡中会場責任者：望月一徳 090-4840-1205

甲府会場責任者：志村 祐 090-7412-7692 峡東会場責任者：風間 斉 090-8598-1295

郡東会場責任者：西島秀和 090-5827-8148 郡南会場責任者：藤田 徹 080-5010-5039